

内容項目名	よりよい学校生活（内容項目C－（16））		
資料名	「校歌にこめられた願い」（出典「明るい心で」東京書籍）		
学校名	佐倉市立寺崎小学校	指導者名	竹内 加代子

1 学習指導案

小学校5年1組 道徳学習指導案

平成29年10月17日（火）5校時

（1）主題名

よりよい校風を求めて

（2）ねらい

学校に愛着をもち、学校の一員としての自覚をもって、自分たちの手で学校をよりよくしようとする態度を育てる。

（3）主題設定の理由

本主題は、学習指導要領のCの視点「主として集団や社会とのかかわりに関すること」の内容項目（16）「先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくる」とともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること」をねらいとしている。

高学年は、属している集団や社会における自分の役割や責任などについて自覚が深まっていく時期である。学校の一員としての自分の役割を自覚し、みんなで協力して自分たちの学校をよりよくしようとする心を育て、よりすばらしい校風を積極的につくろうとする態度を養うのは大切なことである。校風は、その学校がもつ気風や習慣、つまり、学校の雰囲気である。もっと言えば、創立以来の基本理念や歴史的伝統、地理的環境などからつくられるそれぞれの学校独自のものである。児童には、それらを知るだけでなく、具体的な活動を通して、校風をつくっていくのは自分たち自身であると気付かせる。と同時に、お世話になっている先生や学校の様々な人々との活動を通して、集団を支えているのは自分たち自身であるということについても気付かせ、集団における自分の役割を自覚し責任を果たそうとする態度を育てていくものである。


5年生の児童は、進級して高学年の仲間入りをし、「2番目のリーダーとして学校のために力を尽くす」という目標をもって学校生活を送っている。学校全体に目を向けて、みんなのために活動したいという思いをもち、委員会活動や縦割り活動を行っている。しかしながら、まだ、自分たちに与えられた目の前の役割をこなしているに過ぎない。また、本校は開校30周年となり、昨年より開校以来の歩みをふり返ったり、学校の歴史をつくってきた人々の思いに触れる機会が多くあった。「今」の自分たちは、これまで学校をつくってきた人々の延長線上にあり、さらに未来に向けてよりよくしていくことが役目であることを考えさせる絶好の機会である。最高学年になるまであと数ヶ月、5年生の折り返し地点という時期に自分たちの役割だけでなく、先輩達が築いてきた校風を受けつぎ、よりよくして伝えていく者の役割について考え、実践していく機会とするために本主題を設定した。

本資料「校歌にこめられた願い」は「明るい心で」どうとく3（千葉県版）にある資料から抜粋したものである。3年生の資料ではあるが、校歌に込められた思いや願いについて考えているきっかけとするために活用することとした。また、寺崎小学校の校歌を取り上げ、そこに込められた思いや願いを考えることを通して、これまで築いてきた校風や自分たちの役割について考えるきっかけとしたいと考える。

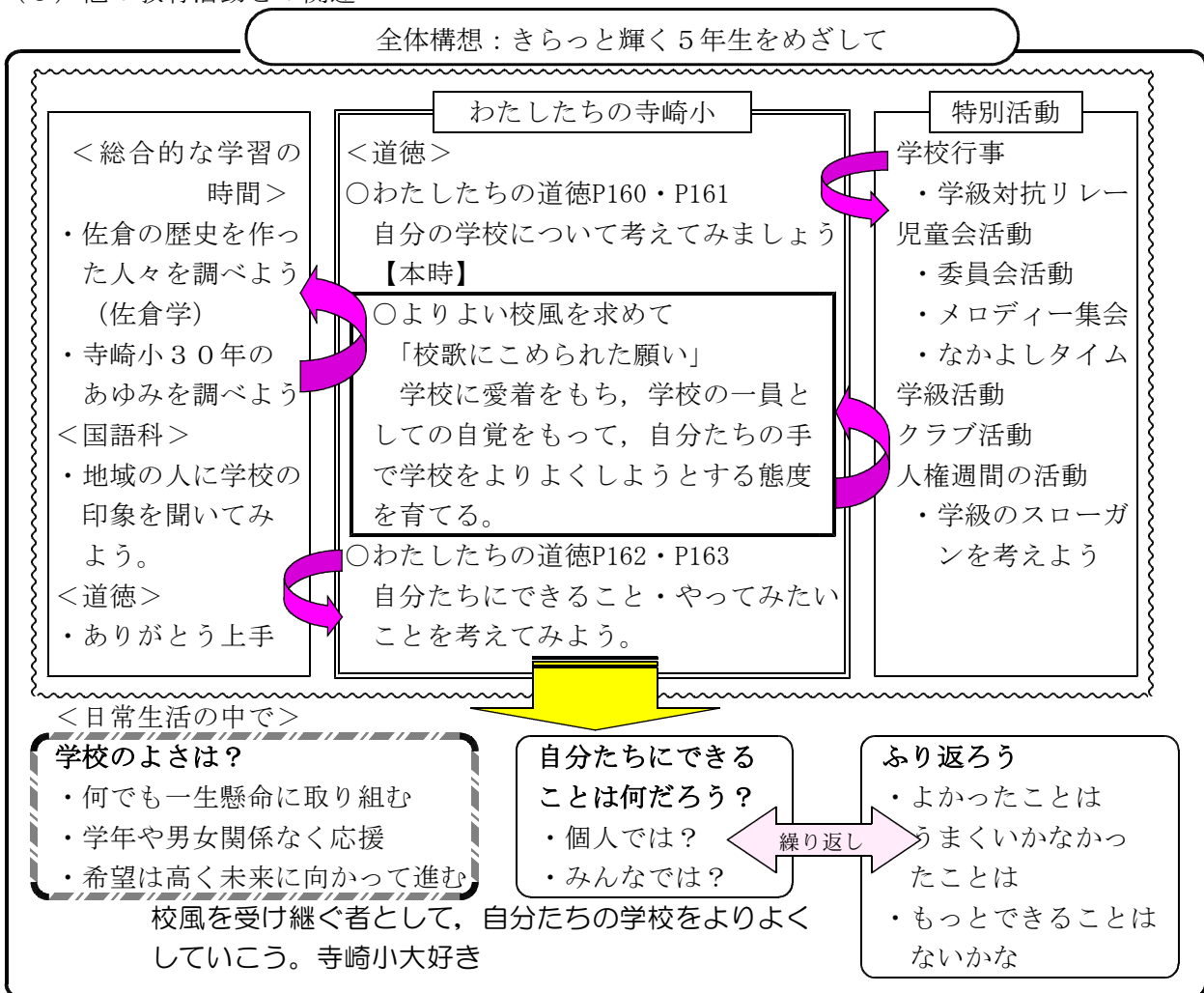
(4) 展開 (55分扱い)

過程	学習活動と主な発問	予想される反応	教師の支援
導入 (3)	<p>1 学校のよいところについて話し合う。</p> <p>○寺崎小学校のよいところは何かですか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭が広い ・給食がおいしい ・あいさつやそうじができる ・上級生が下級生のお手本になる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの学校のよいところに目を向けさせるとともに、「校風」の意味についても確認する。
展開 (50)	<p>2 資料「校歌にこめられた願い」を読み、話し合う。</p> <p>○白金小学校の校歌にはどんな願いがこめられていましたか？</p> <p>◎ゆかさんが「校歌をだいにしたいと思った」のはどうしてでしょうか？</p> <p>3 寺崎小学校の校歌について話し合う。</p> <p>○グループで話し合う。</p> <p>○グループで話し合ったことを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の様子がわかるようにしている ・学校の教育目標 ・作った人の思いやこんな学校になってほしいという願いがこめられている ・校名の由来や歌詞に出てくることがらの意味がわかったから ・作った人の思いや願いを知ったから ・自分たちのことを考えてつくられた校歌だから ・これからは自分たちが学校をつくっていくのだという気持ちになったから 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の内容を文図に表し、話の内容がわかりやすいようにする。 ・自分たちの校歌について話し合う時の視点となるように、一つ一つ確認する。 ・地域の様子を表す部分と、思いや願いがこめられている部分があることに気付かせる。 ・歌詞の意味を知ったことだけでなく、そこにこめられている思いを感じ取ることができたことをおさえる。 ・ノートに書かせることにより、自分の考えをしっかりと自信をもって発表できるようにする。 ・話し合いが円滑に進められるように教師が意図的に配置したグループごととし、役割も明確にしておく。 ・校歌全体を見るのではなく焦点化して見ていくように助言する。 ・発表ボードを活用することで、各グループで考えたことを比べながら見ることができるようにする。 ・様々な考えが出されたことから、たくさんの思いや願いがこめられているのである



	<p>4 校歌を作った人の話を聞き、話し合う。</p> <p>○ビデオメッセージを見る。</p> <p>○メッセージを見た感想を話し合う。</p> <p>○一人一人の考えを書く。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ・昔の寺崎小学校のことがわかった ・校歌にこんな思いや願いがこめられているのがわかってうれしい ・寺崎小学校の校風を受け継いでいきたい ・自分たちにできることを考えて、やっていき、これからにつなげたい 	<p>うことを推測できるようにする。</p> <p>○校歌作成に携わった人からのビデオメッセージを見ることで、校歌にこめられた思いや願いがぐっと身近に感じられるようにする。</p> <p>○校歌にこめられた思いや願いだけでなく、現在の寺崎小学校の児童への願いについて確認し、自分たちができることを考え実践していくことの大切さに気付かせる。</p> <p>○ビデオを視聴したり、感想を話し合ったりしたことから自分で考えたことをノートにまとめる。</p> <p>○しっかりと時間を取って自分に向き合うことができるようにする。</p> <p>○感想だけにとどまらず、自分がこうしていきたいという意思を表すことができるようにする。</p> <p>☆学校や校歌に愛着をもち、自分たちの役割を果たしていこうと考えることができたか。(評価：ノート)</p>
<p>終末 (2)</p>	<p>5 本時のふり返りをする。</p>		<p>○これからの活動で、自分たちにできることを話し合っていくことを伝える。</p>

(5) 他の教育活動との関連



2 事後検討会

(1) 授業記録 (展開2より)

- T 「白金小学校」の校歌には、どのような意味がありましたか。
- S 学校の教育目標である「なかよく助け合う子」ということが書かれています。
- S 未来の子ども達への願いがこめられていた。
- S 地域の特長が入っていた。
- S 校名の由来がわかった。
- T そして、ゆかさんは「もっと好きに」「大事にしたい」と思ったんだね。ゆかさんは、どうして「校歌を大事にしたい」と思ったのでしょうか。
- S 校歌の意味を知ったから。
- S 校歌はその学校の願いや地域の様子を伝えるものだと知ったから。
- S 校歌にこめられている願いや意味がわかったから。
- S 校歌にこめられた深い意味がわかったから。
- T ゆかさんは、このように「校歌にこめられた願い」がわかったんだね。では、私たちの寺崎小学校の校歌はどうだろう。寺崎小の校歌について話し合ってみようよ。

- S (グループごとに校歌について話し合い、発表ボードに話し合ったことを書く)
- T グループで話し合ったことを見てみよう。(発表ボードを黒板に貼り、全体で見る)
- T 佐倉の街のよいところ、寺崎小のよいところ、未来の人への思いが書かれていると話し合ったグループがありました。また、繰り返し出てくる言葉について考えたグループがいくつもありました。「希望は高く寺崎小学校」という言葉は、寺崎小学校の子ども達に「希望を高くもって欲しい」という願いがこもっているのだと考えたそうです。「みんなはなかよし」という合い言葉も校歌に入っているね。
- T 私たちの校歌の中にも、地域のことやみなさんへの願いがたくさんこめられていましたね。今日は、実際に校歌を作った人からメッセージをいただきました。みんなで見てみましょう。
- S (ビデオメッセージの視聴)
- T メッセージを見てどうでしたか。
- S 当時のことがよくわかった。
- S 校歌には、こんな願いがこめられていたのかということがわかった。
- S たくさんの思いや願いがわかった。
- T 校歌について考えたり、校歌を作った人のメッセージを見て、考えたことをノートに書きましょう。じっくり書いてみましょう。(時間を取った後で、指名して発表)
- S 30年前のことがよくわかりました。これからもっと知り、生かせるようにしたいです。
- S 校歌にこめられた願いに応えたいと思いました。
- S 第1回卒業生が願いを込めて作ったことがわかりました。これからもっと大切にしていきたいと思いました。
- S 下級生に校歌のよさや意味を伝えて、よりよくしていきたいと思いました。
- T これから自分たちにできることや、やってみたいことについて考えていきましょう。

(2) 授業の感想

(児童の感想)

- ・第1回卒業生と担任の先生の願いと思いがこもった校歌を大切にしたいです。このすてきな校歌を未来に伝えていきたいです。そして、「みんななかよし」の学校にしていきたいです。
- ・校歌をいつまでも大切に歌ってほしいし、歌ってほしいです。こめられた思いがたくさんあったので、大事につなげていきたいです。
- ・思い出の言葉を合体させてできたことを知りました。とても強い願いがこもっているので、大切に歌おうと思いました。校歌についてたくさん分かったのでよかったです。

(参観者の感想)

- ・校歌の意味から自分たちの地域や作者の思いを知り、校歌だけでなく学校への思いも深くなると感じた。授業の流れもうまく構成されていた。(保護者)
- ・当時娘が在籍しており、校歌を作っていた時の様子や、完成した時のことを覚えています。改めてよい校歌だと思い、深く考えることができよかったですと思います。(地域の方)
- ・校歌の由来や地域の特徴がこめられた校歌の「意味」を知った児童の感動が伝わりました。5年生のテーマとしてタイミングがよかったですと思います。(地域の方)

3 本事例の活用に関する留意点

道徳ノートを活用し、話し合ったことや自分の考えたことを記録してきている。ノートを振り返ることで、自分たちが行ってきたことを自覚し、実践意欲へとつながるものとする。

